

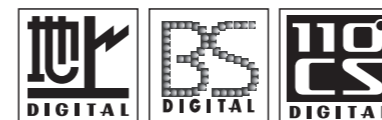
PIXELA

VLシリーズ

32V型 液晶テレビ

型番：PIX-32VL100

取扱説明書



- ・この度は、お買上げ頂き、まことにありがとうございます。
- ・ご使用前に『安全上のご注意』（3～4ページ）を必ずお読みください。
- ・この取扱説明書は、いつでも見ることができるところに保管してください。
- ・保証書は『お買上げ日・販売店』等の記入を確かめ、大切に保管してください。
- ・この取扱説明書に載っている画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。

保証書別添付

■安全上のご注意

■付属品

■スタンドの組み立て方

■各部の説明

■リモコンの説明

■テレビを見るための準備

- ・mini B-CASカードを挿入する
- ・アンテナの接続
- ・はじめての設定
- ・アンテナの方向調整と設定

■テレビを見る

- ・放送の種類
- ・リモコンの基本操作

■番組表を使う

- ・番組表を見る

■インターネットを利用する

- ・インターネットを利用するための接続をする
- ・通信設定

■データ放送を楽しむ

- ・dデータを使う

■録画・予約/再生

- ・注意事項
- ・USBハードディスクについて
- ・録画機能について/録画準備をする
- ・録画準備をする
- ・録画・予約をする
- ・録画した番組を再生・保護・削除する

■各種設定

- ・映像設定
- ・音声設定
- ・機器設定
- ・初期設定
- ・その他の操作

■外部機器と接続する

- ・接続のしかた

■その他

- ・その他の情報

■故障かも・・・と思ったら

■アフターサービスとお問い合わせ

■製品仕様

205000291-0

Copyright © 2018 PIXELA CORPORATION

もくじ

安全上のご注意	P3・4
付属品	P5
スタンドの組み立て方	P6
各部の説明	P7・8
リモコンの説明	P9・10
テレビを見るための準備	・miniB-CASカードを挿入する…………… P11・12 ・アンテナの接続…………… P13 ・はじめての設定…………… P14・15 ・アンテナの方向調整と設定…………… P16・17
テレビを見る	・放送の種類…………… P18 ・リモコンの基本操作…………… P19~21
番組表を使う	・番組表を見る…………… P22・23
インターネットを利用する	・インターネットを利用するための接続をする…………… P24 ・通信設定…………… P25~27
データ放送を楽しむ	・dデータを使う…………… P28・29
録画・予約/再生	・注意事項…………… P30 ・USBハードディスクについて…………… P31・32 ・録画機能について/録画準備をする…………… P33 ・録画準備をする…………… P33~37 ・録画・予約をする…………… P38~41 ・録画した番組を再生・保護・削除する…………… P42~45
各種設定	・映像設定…………… P46 ・音声設定…………… P47 ・機器設定…………… P48~50 ・初期設定…………… P51・52 ・その他の操作…………… P53
外部機器と接続する	・接続のしかた…………… P54
その他	・その他の情報…………… P55
故障かも…と思ったら	P56~58
アフターサービスとお問い合わせ	P59・60
製品仕様	P61


安全上のご注意


ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を『警告』、『注意』の2つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

 この記号は禁止の行為を告げるものです。

 この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

異常・故障時について

警告

異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

- ・内部に水・金属類・燃えやすいものが入った場合
- ・煙や焦げる臭い、異常音などの異常が発生した場合
- ・落としたり、キャビネットを破損した場合
- ・電源が入ったり切れたりする場合

本機の取り扱いについて

警告

- 液晶ディスプレイは精密機器ですので、強い力や荷重、衝撃を加えないでください。液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になります。
- 不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。液体がこぼれて内部に入ると火災・感電の原因になります。
- 異常に温度が高くなるところや、直射日光が当たる場所には置かないでください。火災の原因や、外装ケース・内部部品が劣化する原因になります。
- 湿気やほこりの多い所、油煙や、湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください。火災・感電の原因になります。
- 本機使用中は、風通しの悪い狭い所で使用したり、布・布団・保温材などで覆ったり包んだりしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

分解・改造について

警告

本体、ACアダプターを含め、お客様自身による分解・改造・修理はしないでください。内部には電圧の高い部分があるため、さわると感電の原因になります。内部の点検、修理は販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。

雷について

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れないでください。感電の原因になります。

安全のため必ずお守りください

安全上のご注意

本機の取り扱いについて

注意

- 付属のスタンドを使用し、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかり止めてください。倒れたりしてけがの原因になることがあります。
- アンテナ工事が必要な際は、販売店または専門業者にご相談ください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。
- 壁掛け設置工事は、販売店または専門業者にご相談ください。落下してけがの原因になることがあります。
- あお向けや、横倒し、さかさまにして使用しないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 本機の上面、左右、後面は10cm以上の間隔を設けて備え付けてください。また、通気孔をふさがしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

お手入れについて

注意

- お手入れの際は安全のためにACアダプター、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電の原因になることがあります。
- 定期的にACアダプター、電源プラグのほこり掃除を行ってください。火災・故障の原因になることがあります。
- 定期的に通気孔等に付着したほこりやごみを取り除いてください。長期間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。内部の掃除が必要な場合は販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。
- 長期間使用しないときはコンセントから抜いてください。電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。

守っていただきたいこと

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎないように注意して下さい。

ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因になることがあります。

乳幼児やペットがいるお客様は、転倒・感電・火傷・誤飲などに十分ご注意ください。

搬送について・・・本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、輝点や黒点が増加することがあります。

電池について

注意

- 電池のアルカリ液がもれたときは素手で触らないでください。電池のアルカリ液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療をうけてください。皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。
- 電池は火や直射日光などの過激な熱にさらしたり、分解・改造・ショートしないでください。電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。
- 電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。
- 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください。電池の破裂・アルカリ液もれにより、火災・けがや周囲汚損の原因になることがあります。

移動について

注意

- 移動させるときは、接続されている線などをすべて外してください。電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

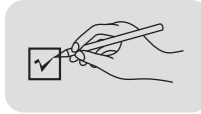
電波妨害について・・・本機の近くで携帯電話、ラジオ受信機、トランシーバー、防災無線機などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。このときは、機器に影響のないところまで本機から離してください。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください・・・急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は表示品位が低下する場合がありますのでご注意ください。

低温になる部屋（場所）でのご使用の場合・・・ご使用になる部屋（場所）の温度が低温の場合は、画像が尾を引いて見えたり、少し遅れたように見えることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

付属品

本製品をお使いになる前に、付属品を確認してください。



本製品をお取り扱いになる前に、以下のものが全てそろっているか確認してください。万が一、不足しているものや破損しているものがある場合はお買上げ店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

取扱説明書(本書)

PIXELA

32V型 液晶テレビ
型番: TX-320100

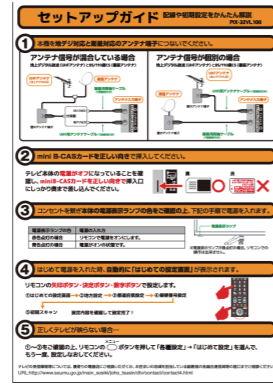
取扱説明書



HDMI

保証書別添付

セットアップガイド



保証書



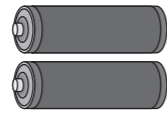
スタンド



B-CASカード脱落防止ネジ



単4乾電池×2 (動作確認用)



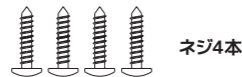
リモコン



mini B-CASカード



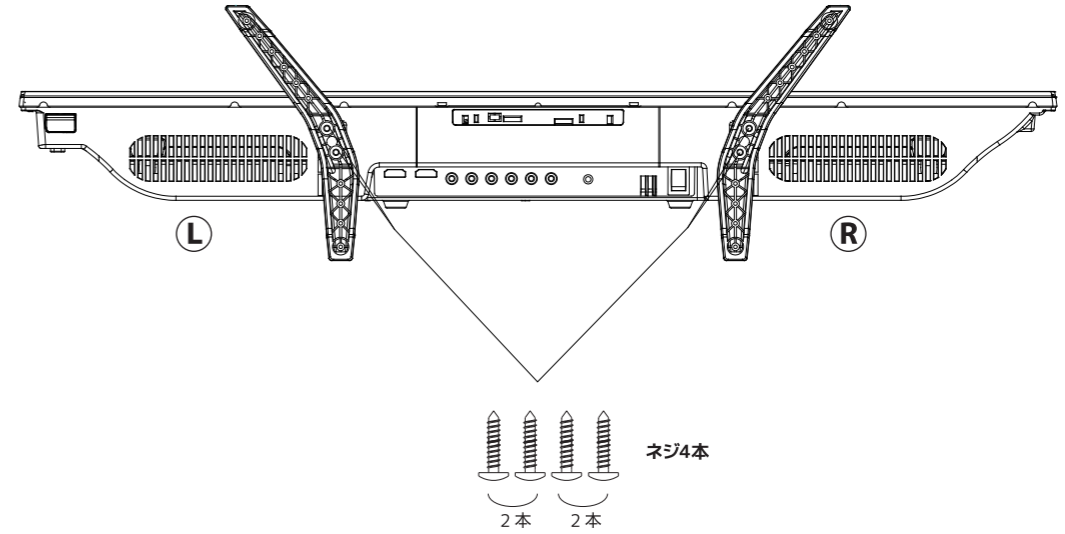
スタンド取り付けねじ



スタンドの組み立て方

プラスドライバー JIS#2(市販品)をご用意ください。

- 1.本体にスタンドを取り付けます。
- 2.スタンド裏側から4箇所をネジでとめます。



※スタンドを組み立てる際は、毛布など厚手の柔らかい布を敷いた上で行ってください。

※ネジは付属品です。

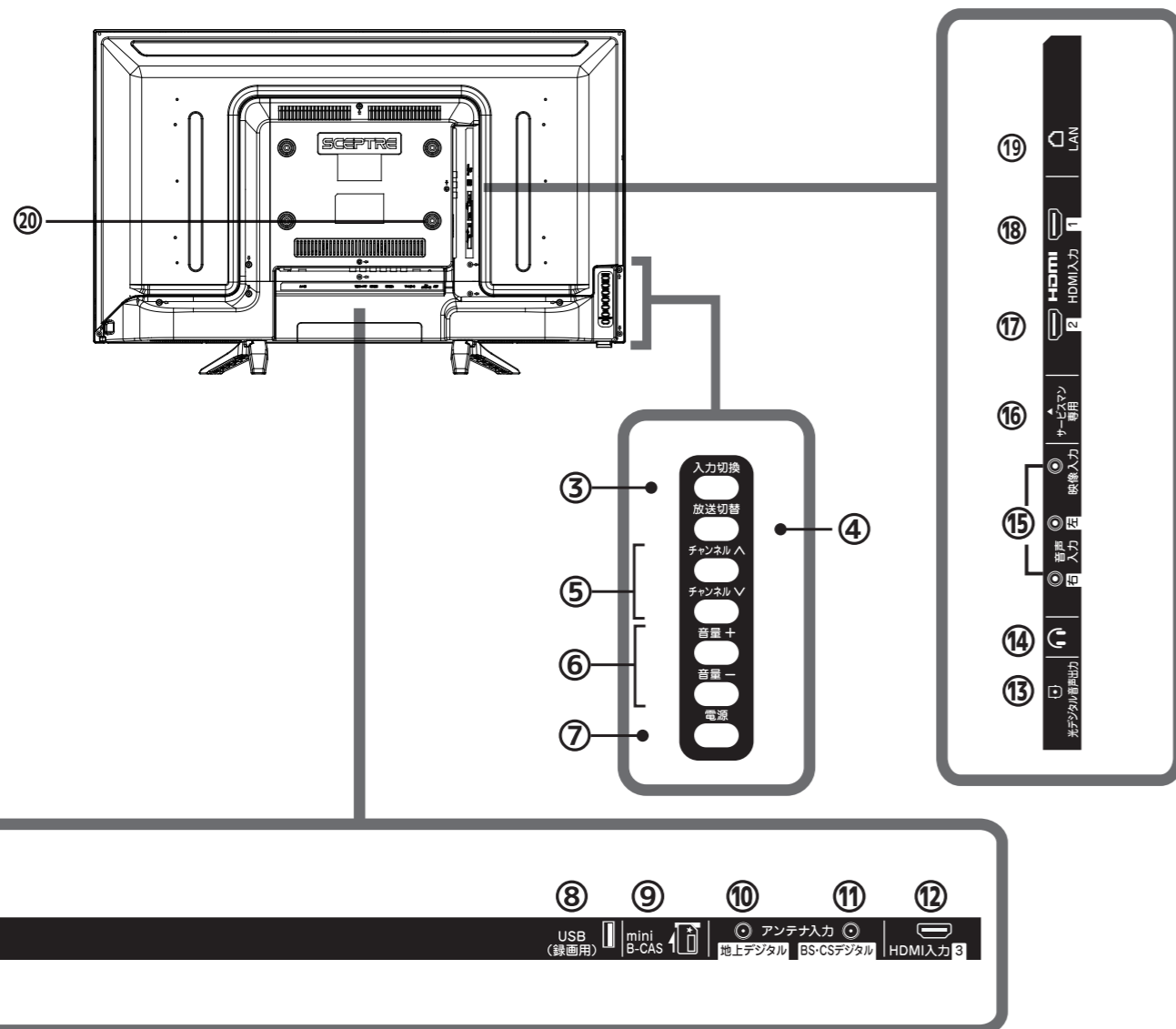
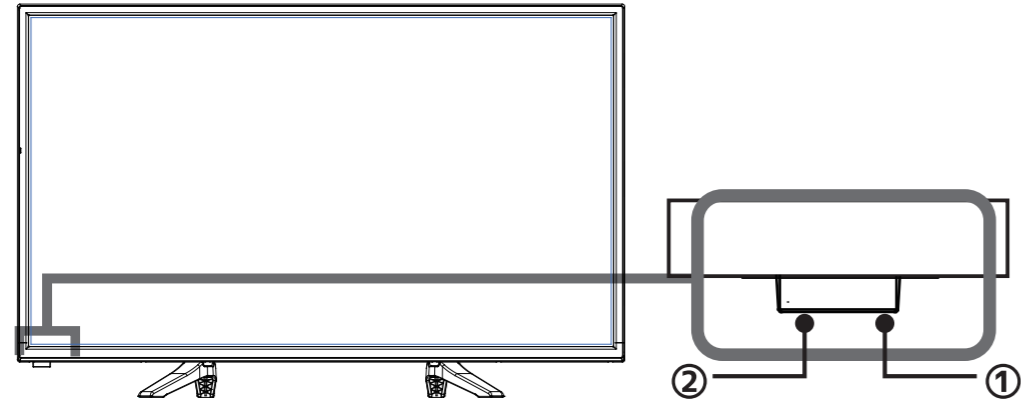
※ゆるみのないようにしっかりと取り付けてください。

※スタンドには右左があります。スタンドの刻印「R」「L」が本体底面の「R」「L」に合うように組み合わせてください。

※イヤホン・ヘッドホン・DVDプレイヤー等の接続コード類、アンテナ接続用の同軸ケーブル等は別途必要です。

※乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。

各部の説明



各部の説明

① リモコン受信部

リモコンの信号を受信する部分です。
リモコンはこの部分へ向けて操作してください。
また、受信部近くに遮へい物を置かないようにしてください。

② 電源表示ランプ

青色点灯：電源がオンのとき
赤色点灯：リモコンで電源をオフにしたとき（スタンバイ状態）
赤色点灯：電源がオフで録画中のとき
無点灯：本体電源がオフのとき

③ 入力切換

ボタンを押すごとにTV視聴・ビデオ・HDMI1・HDMI2・HDMI3の順で入力切換をおこないます。

④ 放送切換

地上デジタル・BS・CS放送を切換えできます。

⑤ チャンネル+ チャンネル-

チャンネルの選択に使用します。

⑥ 音量+ 音量-

音量の調整に使用します。

⑦ 電源

電源のオン/オフに使用します。

⑧ 録画専用USB

USBハードディスク（市販品）を接続します。

⑨ mini B-CASカード挿入口

mini B-CASカードを挿入します。（☞11・12ページ）
カードの向きにご注意ください。

⑩ 地デジアンテナ入力端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

⑪ BS/CSアンテナ入力端子

アンテナ線（市販品）で壁などのアンテナ端子と接続します。

⑫ HDMI3入力端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。

⑬ 光デジタル音声出力端子

SPDIFケーブル（市販品）を接続します。

⑭ イヤホン出力端子

イヤホン/ヘッドホン（市販品）を接続します。

⑮ AV入力端子

AVケーブル（市販品）を接続します。

⑯ サービスマン専用端子

サービスマン専用端子です

⑰ HDMI2入力端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。

⑱ HDMI1入力端子

HDMIケーブル（市販品）を接続します。

⑲ 有線LAN端子

有線LANケーブル（市販品）を接続します。

⑳ 壁掛け金具取付用ネジ穴×4

本製品は市販の壁掛け金具を使用して、壁に取り付けることができます。

●VESA規格

MIS-D 200 X 100 M4ネジ

※壁掛け金具の取り付けは、必ず専門業者にご依頼ください。
※専門業者以外の方が取り付けて、壁への取り付けが不適切だと、テレビが落下して、打撲や大けがの原因となることがあります。

リモコンの説明

※リモコンは本体受信部から3メートル以内、上下左右30度以内でご使用ください。

	電源	電源をオン/オフにします。
	入力切替	テレビ放送の切替えや外部機器入力の切替えをします。
	1 ~ 12	チャンネルを直接選ぶことができます。文字の入力に使用します。
	地デジ	地上デジタル放送への切替えができます。
	BS	BS放送への切替えができます。
	CS	CS放送への切替えができます。
	3桁入力	チャンネル固有の番号を入力して、チャンネルを選択することができます。
	音量	音量の調整に使用します。
	チャンネル	チャンネルの切り換えに使用します。
	オフタイマー	オフタイマーを設定すると、設定した時間を経過すると電源が切れて、待機状態になります。
	dデータ	データ放送の画面に切り換えます。
	消音	一時的に音を消します。もう一度ボタンを押すと解除されます。
	青・赤・緑・黄	設定メニュー画面、電子番組表等で、割り当てられている操作を実行します。
	画面表示	現在の受信チャンネル情報を表示します。
	番組情報	番組視聴中にボタンを押すと、画面に番組内容が表示されます。
	戻る	表示されているメニュー画面などを1つ前の画面に戻すことができます。



リモコンの説明

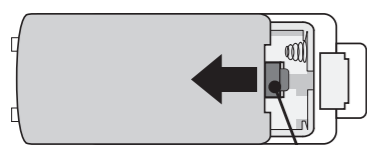
	メニュー	設定メニュー画面を表示します。
	予約一覧	予約リストを表示します。
	番組表	現在放送している番組から、番組表を表示します。
	方向ボタン	メニュー内でカーソルを動かしたり項目を選択します。
	決定ボタン	選択した項目を決定します。
	録画一覧	録画リストの画面に切り換えます。
	再生/一時停止	録画データの再生または一時停止をします。
	早戻し	再生中の録画データの早戻しをします。
	早送り	再生中の録画データの早送りをします。
	前	前に戻って頭出し再生し再生をします。
	停止	再生中の録画データの停止をします。
	次	ひとつ先へ進んで頭出し再生をします。
	録画	録画を開始する時に押します。
	字幕	受信している放送が字幕放送の場合、字幕を表示します。
	音声切替	2カ国語放送や、音声多重放送受信時に音声言語を切り換えます。 ※放送によっては音声言語が切り換えられない場合があります。

電池の入れ方

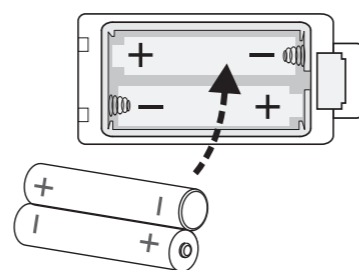
※リモコンには単4形乾電池2本が必要です。

1.リモコン背面の電池カバーを取り外してください。

2.電池の向きに注意して電池を入れ、カバーを元に戻します。



つまみを矢印の方向に押しながら外してください。



テレビを見るための準備

miniB-CASカードを挿入する

1. mini B-CASカード台紙に記載の文面をよくお読みください。

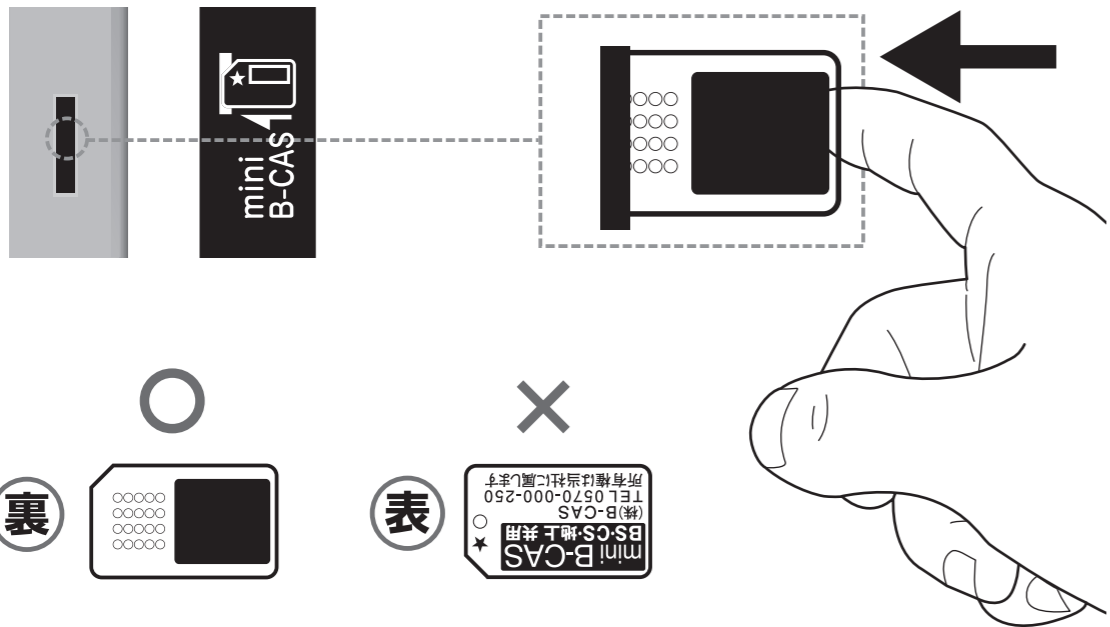
※パッケージを開封すると、添付されている契約約款に同意したとみなされます。開封前に必ず契約約款をよくお読みください。

2. 内容に同意の上でmini B-CASカードを台紙からはずします。

mini B-CASカード台紙 ▶



3. テレビ本体の電源がオフになっていることを確認し、mini B-CASカードを正しい向きで挿入口にしっかり奥まで差し込んでください。

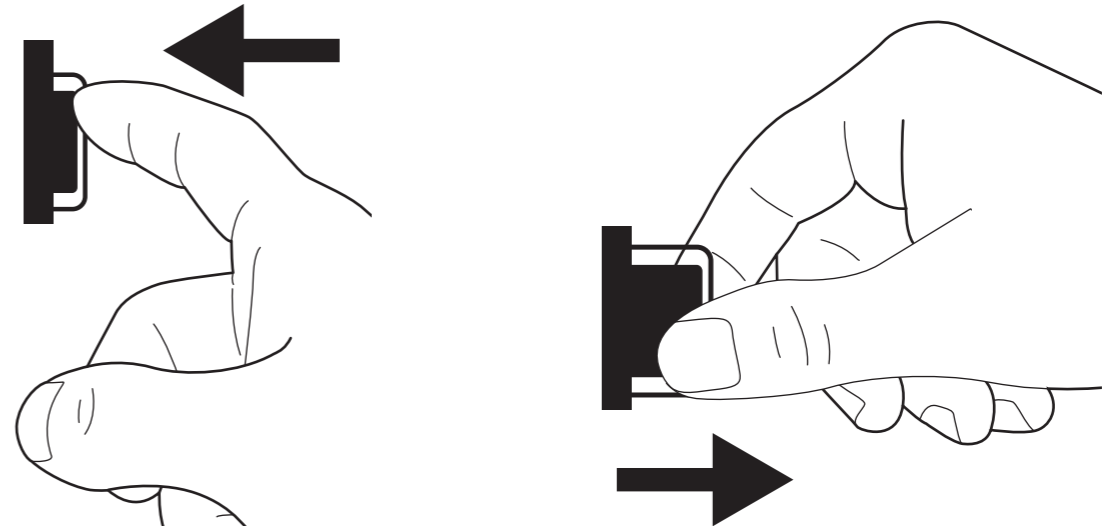


※mini B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が映りません。
※mini B-CASカードは折り曲げないように挿入してください。
※mini B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
※ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

テレビを見るための準備

miniB-CASカードを取り外す

テレビ本体の電源をオフにして、mini B-CASカードを一度押してから、ゆっくりと抜いてください。



mini B-CASカードの取り扱いについて

- mini B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードに貼ってある台紙の説明をご覧ください。
- mini B-CASカードに関するメッセージが画面に表示されたとき以外は、カードを抜き差ししないでください。
- 裏の端面には触れないでください。
- 分解・加工はしないでください。
- 破損などによりmini B-CASカードの再発行を依頼する場合は費用が必要です。詳しくは、mini B-CASカスタマーセンターにご連絡ください。

mini B-CASカードについてのお問い合わせ先

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター 電話：0570-000-261
IP電話：045-680-2868(2018年4月現在)

テレビを見るための準備

アンテナの接続

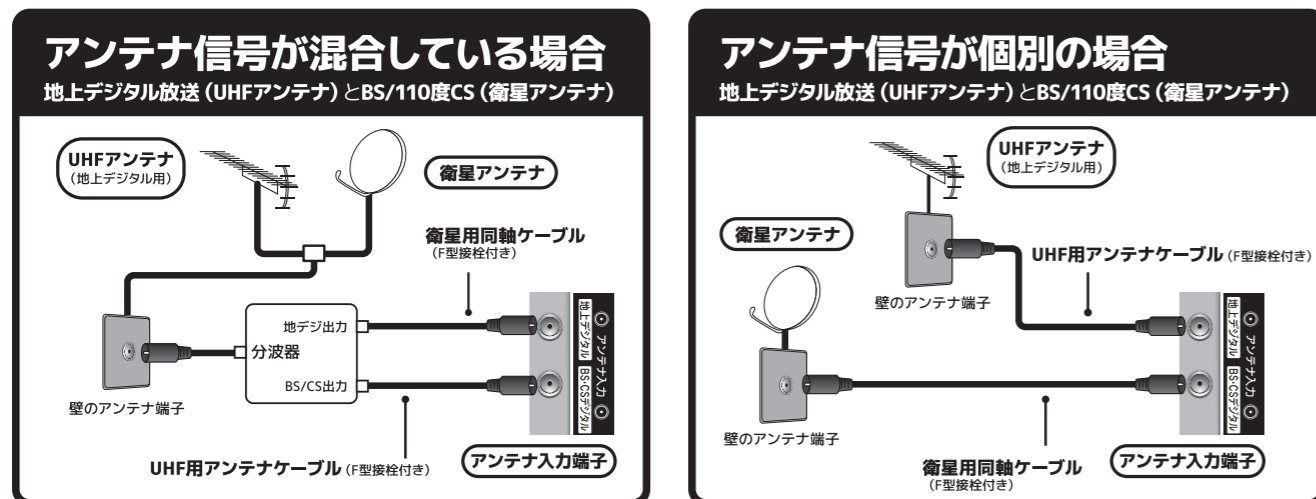
●地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ(地上デジタル用)が必要です。

●BS/110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。

※アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。

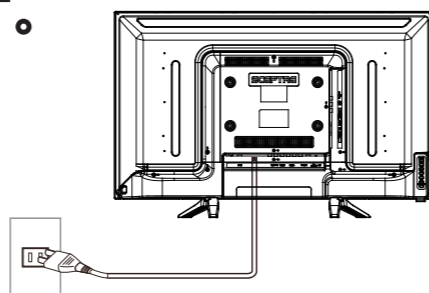
1.アンテナと本機をつなぎます。

アンテナ線で、壁などのアンテナ端子と本製品のアンテナ入力端子を接続します。



2.電源プラグをコンセントに接続します。

3.本機の電源を入れます。コンセントを繋ぎ本体の電源表示ランプの色を確認の上、下記の手順で電源を入れます。



電源表示ランプの色	電源の入れ方
赤色点灯の場合	リモコンの電源ボタンを押して電源をオンにします。電源が入るとランプが青色に点灯します。
青色点灯の場合	電源がオンの状態です。

※本体電源が「切」の場合(ランプが無点灯の場合)リモコンでの操作は出来ません。

※アンテナ線は、工具などを使って締め付け過ぎないようにしてください。故障の原因となることがあります。
※本製品にアンテナ線は付属していません。
※図は接続の略図です。実際の接続部とは多少、異なることがあります。
※地上デジタル放送をご覧になるときは、地上デジタル放送の信号が受信されていることをご確認ください。
※リモコンを使用する際は、リモコンの電池がきちんと入っていることを確認してください。
※電源を入れてから画面が映るまでに数十秒かかります。画面が表示されるまで少しお待ちください。

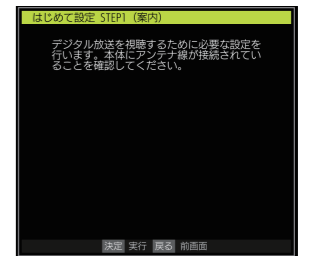
テレビを見るための準備

はじめての設定

開封後、はじめて電源を入れた時、自動的にはじめての設定画面が表示されます。

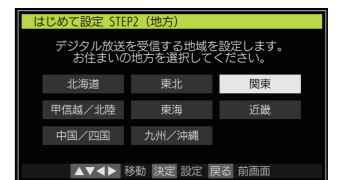
1.電源をつける

本体またはリモコンの『電源』ボタンを使って電源をオンにします。オンの状態になると、電源ランプが青色に点灯します。はじめて電源を入れたときに、「はじめて設定STEP1(案内)」画面が表示されます。内容をご確認の上『決定』ボタンを押してください。



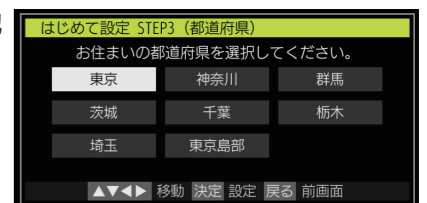
2. 地方設定

地上デジタル放送チャンネル設定画面で、お住まいの地方、を方向ボタンで選び、『決定』ボタンを押します。



3.都道府県設定

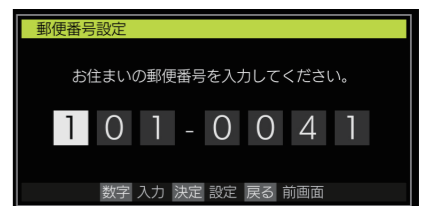
地上デジタル放送チャンネル設定画面で、お住まいの地方、都道府県、地域を方向ボタンで選び『決定』ボタンを押します。



4.郵便番号設定

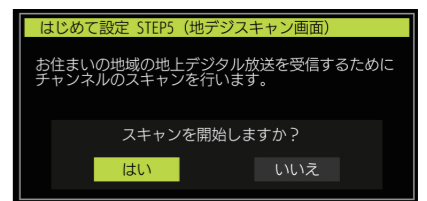
郵便番号の設定画面が表示されるので、住まいの郵便番号をリモコンの『数字』ボタンで入力し、『決定』ボタンを押します。

※間違えて入力したときは、◀でカーソルを戻してからもう一度入力します。
※郵便番号入力で、上3桁を入力して決定ボタンを押すと、残りの4桁は自動的に『0』が入力されます。
※お住まいの地域に密着したデータ放送(天気予報・選挙速報など)を視聴したりするための設定です。



5.初期スキャン

『方向』ボタン◀▶で「はい」を選び、『決定』ボタンを押すと、初期スキャンが始まります。終了するまでしばらくお待ちください。

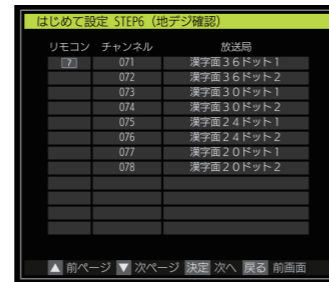


テレビを見るための準備

はじめての設定

6.受信チャンネルリストの確認

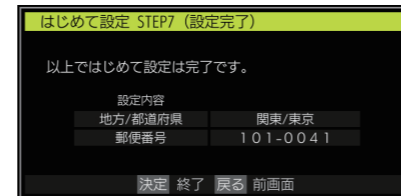
スキャン完了後、受信したチャンネルを確認し、『決定』ボタンを押します。



7.設定完了

設定内容を確認して『決定』ボタンを押します。以上ではじめての設定は完了です。

※『はじめての設定』をしても地上デジタル放送が正しく受信できなかったときは、お買上げの販売店などにご相談のうえ、アンテナの方向調整をしてください。(☎16ページ)



本製品を安全に品質を維持した状態をご利用いただくためには、下記の確認と設定が必要です。

- 地上デジタル放送を受信するにはUHFアンテナ(地上デジタル用)が必要です。
- BS/110度CS放送を受信するには衛星アンテナが必要です。
- 衛星アンテナには電源供給が必要です。また、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器・分波器は、全端子電流通過型をご使用ください。
- 既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
- 本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダー等を接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へアンテナ線を接続してください。レコーダー等の接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。
※アンテナの購入、設置に関しては販売店、電気店、専門の業者にご相談ください。
- CATV(周波数変換{VHF CATV:MID/SHB UHF})パススルー対応

テレビを見るための準備

アンテナの方向調整と設定

地上デジタル放送の受信方法

- 屋外アンテナの場合
アンテナが地上デジタル対応のUHFアンテナもしくはVHF/UHFの混同アンテナになっているかを確認してください。
詳しくは電気店またはアンテナ設置業者にご相談ください。
- ケーブルテレビの場合
ご契約されているケーブルテレビの伝送方式がパススルー方式であるかを確認してください。伝送方式が不明な場合は、ご契約されているケーブルテレビ会社にお問合せください。

地上デジタル・BS・CS放送の受信強度の確認

(受信強度の確認方法は☎16・17ページ)

- 50%未満の場合
電波が弱いもしくは電波障害の可能性があります。詳しくはお買上げ店またはお近くの電気店にご相談ください。
- 50%以上でも映らない場合
アンテナ線などケーブル類の接続に間違いがないか再度確認し、チャンネルの再設定をしてください。

地上デジタルアンテナレベル

- 1.リモコンの『メニュー』ボタンを押して「各種設定」→「デジタル放送設定」→「アンテナ設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
- 2.『方向』ボタン▲▼で「地上デジタル」を選択し、『決定』ボタンを押します。
- 3.『方向』ボタン◀▶で「伝送チャンネル」を選択し、お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている転送チャンネルを選んでください。



- 4.アンテナをゆっくり動かして「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整します。
※アンテナの方向調整は、専門業者またはお買上げの販売店にご相談ください。
- 5.アンテナを固定して、『決定』ボタンを押します。
- 6.アンテナ設定を終了するときにはリモコンの『戻る』ボタンを押します。

テレビを見るための準備

アンテナの方向調整と設定

BSアンテナレベル

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押して「各種設定」→「デジタル放送設定」→「アンテナ設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で「BS」を選択し、『決定』ボタンを押します。



※受信できるアンテナレベルの目安は、BSデジタルが36以上、110度CSデジタルが28以上です。表示される数値は受信C/Nを換算したものです。

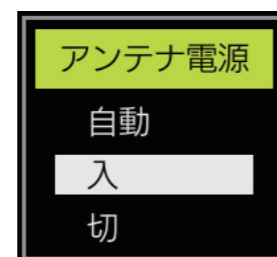
3. 契約しているチャンネル、または無料チャンネルをチャンネル切換ボタンで選択します。
4. アンテナをゆっくり動かして「アンテナレベル」の数値が最大となるように調節する画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定した後にレベル値が下がっていないことを確認してください。

※アンテナの方向調整は、専門業者またはお買上げの販売店にご相談ください。

5. アンテナを固定して、『決定』ボタンを押します。
6. アンテナ設定を終了するときはリモコンの『戻る』ボタンを押します。
※CS設定はBSと同じです。

BS・110度CSアンテナ電源

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押して「各種設定」→「デジタル放送設定」→「アンテナ電源」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で「自動/入/切」を選択し、『決定』ボタンを押します。



3. アンテナ設定を終了するときはリモコンの『戻る』ボタンを押します。

テレビを見る

放送の種類

<地上デジタル放送>

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

<BSデジタル放送>

BSデジタル放送とは、放送衛星（Broadcasting Satellite）を使った、デジタル信号によるテレビやラジオの放送です。『WOWOW』『スターチャンネル ハイビジョン』等の有料放送は加入申し込みと契約が必要ですが、視聴条件が無料のチャンネルは申し込み等は不要で、アンテナなどのセッティングが完了すれば視聴可能になります。NHK BS1、NHK BSプレミアムは視聴可能ですが、視聴契約をしないと画面上にメッセージが表示されます。(2018年1月現在)

<110度CSデジタル放送>

110度CSデジタル放送とは、通信衛星（Communication Satellite）を使って行う放送で、ニュースやスポーツ、映画、音楽等の専門チャンネルがあります。一部を除き有料で、受信するには、見たいチャンネルを視聴契約する必要があります。おもなサービスに『スカパー!』があり、CS1とCS2の2つの放送サービスがあります。『スカパー!』へは加入申し込みと契約が必要です。(2018年1月現在)

お問合せ先

WOWOW

公式HP：<http://www.wowow.co.jp/>

カスタマーセンター：0120-580-807（受付時間 9:00～20:00 年中無休）

スターチャンネル

公式HP：<http://www.star-ch.jp/>

カスタマーセンター：0570-013-111 または、044-540-0809

（受付時間 10:00～18:00 年中無休）

スカパー!

公式HP：<http://www.skyperfectv.co.jp/>

カスタマーセンター：0120-211-855（受付時間 10:00～20:00 年中無休）

テレビを見る

リモコンの基本操作

電源をつける

付属の AC アダプターを本体背面の電源入力端子に接続しコンセントを差し込み、本体電源が入っている状態（ランプが赤色点灯している状態）で『電源』ボタンを押すと電源がオンになります。オンの状態になると、電源ランプが青色に点灯します。

※本体電源がオフの場合（ランプが無点灯の場合）リモコンの操作は出来ません。（P13）

消す

もう一度『電源』ボタンを押すと画面が消え、スタンバイ状態になります。

地デジ / BS / CS

リモコンの『地デジ』『BS』『CS』ボタンを押すと、地デジ、BS、CSの放送を視聴することができます。

チャンネルを変える ~

- ①『数字』ボタンで、見たいチャンネルを直接選択することができます。
※チャンネル表示は数秒で消えます。
- ② 本体の『チャンネル+/-』ボタンもしくはリモコンの『チャンネル+/-』ボタンを押すと、チャンネルの番号順にチャンネルを選択することができます。

3桁入力

3桁チャンネル番号を使ってチャンネルを切り換えることもできます。

『3桁入力』を押して「1」～「10/0」で番号を入力します。「0」を入力するときは「10/0」を押してください。

音量を調整する

本体またはリモコンの『音量+/-』ボタンを押すと、音量を調整することができます。

消音する

『消音』ボタンを押すと一時的に音が消えます。もう一度ボタンを押すと元の音量に戻ります。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン

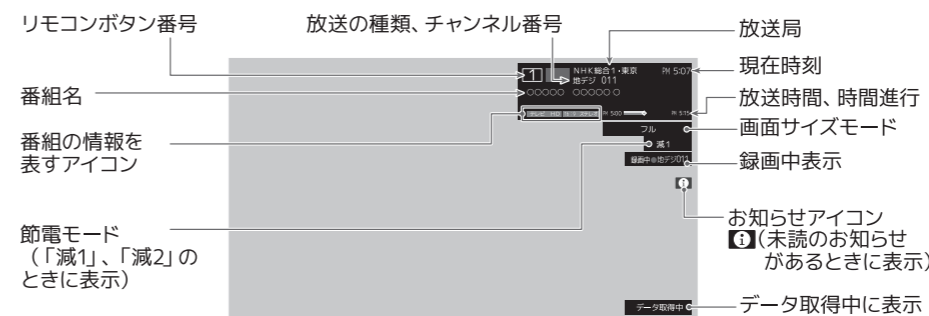


テレビを見る

リモコンの基本操作

画面表示

『画面表示』ボタンを押すと、現在見ているチャンネルの情報を表示することができます。表示を消すには、もう一度『画面表示』ボタンを押します。※一定時間後、画面下部の表示が消えて上部の表示だけになります。



入力切替

ボタンを押すごとに地デジ・ビデオ・HDMI1・HDMI2・HDMI3の順で入力切替をおこないます。

※1番上は現在視聴しているチャンネルが表示されます。



音声切替

音声切替ボタンを押すたびに別の音声に放送されている音声を切り換えます。 ※放送によって音声切替できない場合があります。

番組情報

番組視聴中に『番組情報』ボタンを押すと、画面に番組内容が表示されます。もう一度『番組情報』または『戻る』ボタンを押すと終了します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



テレビを見る

リモコンの基本操作

字幕 字幕

字幕のある番組のときに、字幕の表示、非表示を切り換えることができます。 ※字幕ボタンを押すたびに字幕オン/オフに切り換えます。

(例)

字幕オフ

- ※字幕放送に対応している放送の番組でのみ利用することができます。
- ※映像自体に字幕が表示されている場合は『字幕オフ』に設定しても字幕が表示されます。
- ※字幕は放送信号や処理の速度によって多少画面との時間のずれが生じることがありますが、故障ではありません。
- ※受信している放送によって表示が異なる場合があります。

番組表の表示 番組表

番組表を見ることができます。詳細はP22・23ページをご覧ください。

『戻る』ボタンを押すと終了します。

録画一覧 録画一覧

リモコンの『録画一覧』ボタンを押すと、録画した番組を確認することができます。録画一覧を表示中にリモコンの『メニュー』ボタンを押すと、下記の項目が設定できます。

リピート再生	『オン』『オフ』から設定できます。
保護設定	操作手順はP45をご覧ください。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



番組表を使う

番組表を見る

デジタル放送では、放送局から送られてくる番組情報をもとに、新聞や雑誌などのテレビ番組欄のような放送別の番組一覧を見ることができます。現在から最大7日先までの放送予定を確認できます。

注意

画面の表示は実際のものとは多少異なる場合があります。お買上げ後はじめて使用するときに、長期間電源ケーブルを抜いていた時などは、すぐに番組表が表示されない場合がありますが、異常ではありません。本機がスタンバイ(電源LEDランプが赤点灯)状態のとき1日数回番組表データを取得します。

※主電源を切ると番組表は一旦クリアされますが、起動後に時間情報が取得できると番組表が表示されます。

番組表を見る 番組表

- ①デジタル放送視聴中にリモコンの『番組表』ボタンを押します。
- ②視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。放送の種類を変更するにはリモコンの『地デジ』『BS』『CS』のいずれかを押します。



※番組表を消すには、リモコンの『番組表』または『戻る』を押します。

視聴予約を設定する 番組表

番組表で視聴予約に設定した番組に自動で切り換えます。

- ①デジタル放送視聴中にリモコンの『番組表』ボタンを押します。
- ②『方向』ボタンで予約したい番組表を選び、『決定』ボタンを押します。
- ③番組内容を確認して「視聴予約」を選び、『決定』ボタンを押します。
- ④番組表の画面で予約した番組のボックスにチェックマークが付きます。

視聴予約を取消す

- ①予約した番組を選び、『決定』ボタンを押します。
- ②「予約取消」を選択し『決定』ボタンを押すと、視聴予約が取り消されます。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



番組表を使う

番組表を見る

カラーボタンでできること ■ ■ ■ ■

青/赤: 日時の切り換えができます。

緑: ジャンル検索ができます。

黄: 予約一覧が表示されます。

番組表のメニューボタンでできること

番組表の表示中にリモコンの『メニュー』ボタンを押すと下記の項目が選択できます。

表示サイズ	文字サイズを変更できます。
表示時間数	4時間と6時間から選択できます
テレビ/データ/ラジオ切換	放送局がラジオ・データ切換に対応している時に切り換えることができます。
マルチチャンネル	自動とオンを設定できます。
ジャンル色分け	特定の色に番組のジャンルを振り分けることができます。ジャンル別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。

番組表の見方

放送の種類

リモコンボタン、チャンネル、放送局

録画予約がある時間帯 (赤色の縦線表示)

●(赤) 録画アイコン

●(緑) 視聴予約アイコン

放送メディア(データ)

番組表の日付

現在の日時

選択中の番組

色分け設定をしたジャンルに該当する番組は、開始時刻と背景が設定した色になります。

放送時間の短い番組は、番組を選べば番組名などが表示されます。

リモコンボタンの操作ガイド

インターネットを利用する

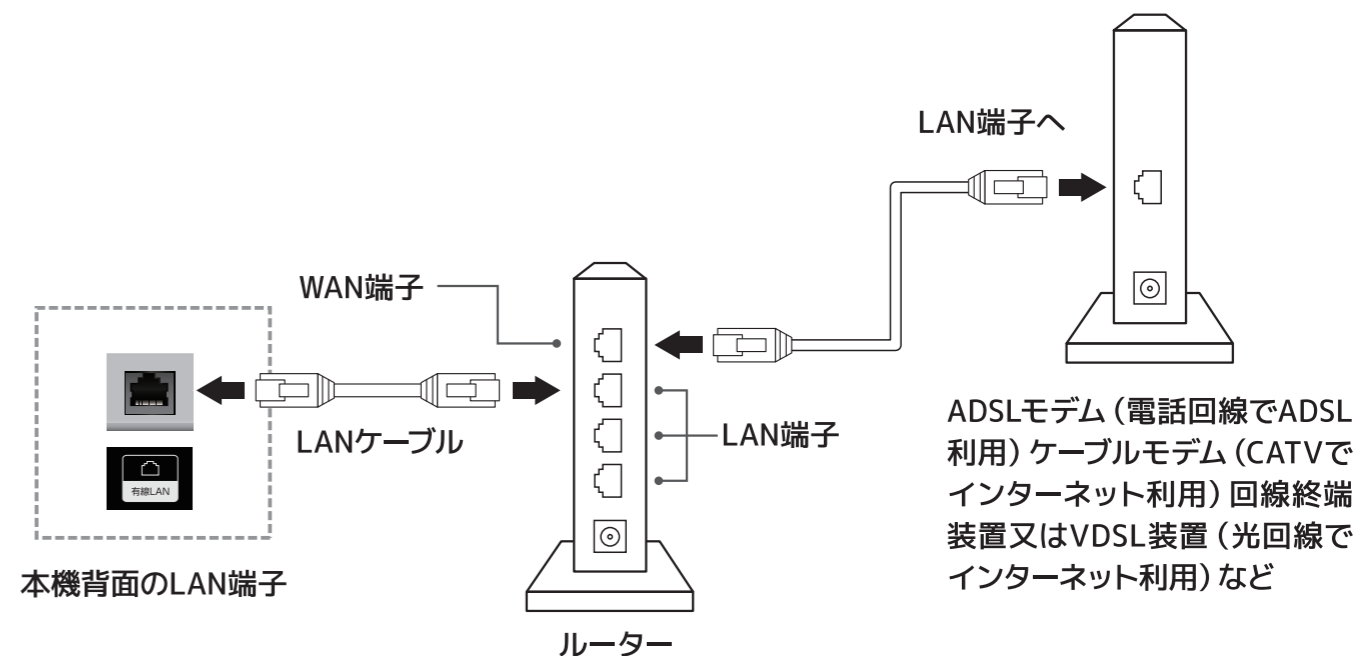
インターネットを利用するための接続をする

データ放送の双方向サービスを利用すると、ショッピングやクイズ番組への参加が楽しめます。 ※本機は電話回線を利用した双方向サービスは対応していません。

<接続する前に>

本機に接続する機器の取り扱い説明書も併せてよくお読みください。ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。

- はじめてインターネットを利用する場合、プロバイダー(ネット接続業者)か通信業者と契約する必要があります。詳しくは通信事業者もしくは家電量販店などにご相談ください。
- 接続完了後、必要に応じて「通信設定」を行ってください。(P.25~27ページ)
- すでにインターネットをご利用の場合ルーターLAN端子と本機背面のLAN端子をLANケーブルで接続してください。「通信設定」は必要ありません。



※本機でルーターやルーター内蔵モデムを設定することはできません。機器によってはパソコンなどで設定する必要があります。
 ※本機は ISDN 回線などでのインターネット及びダイヤルアップ通信を利用することはできません。
 ※取扱説明書に図示されていない機器を接続した場合、正常に通信できないことがあります。
 ※ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機の LAN 端子を接続すると、正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用する

通信設定

本機は、データ放送に対応しております。有線LAN端子が搭載されていますので、双方向番組サービス、連動データ放送がご利用できます。通信設定はLAN端子の接続をした場合に設定します。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに設定します。

リモコンの『メニュー』ボタンを押して「機器設定」→「ネットワーク設定」→「通信設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

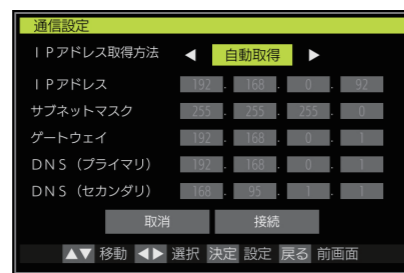


IPアドレス設定

インターネットに接続するために本機で割り当てられる固有の番号を設定します。

【IPアドレスを自動取得する場合】

- ①「IPアドレス取得方法」を選択します。
- ②『方向』ボタン◀▶でIPアドレス取得方法を「自動取得」にして『決定』を押します。



使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



インターネットを利用する

通信設定

【IPアドレスを手動で取得する場合】

- ①「IPアドレス取得方法」を選択します。
- ②『方向』ボタン◀▶でIPアドレス取得方法を「手動入力」を選びます。
- ③『方向』ボタンで「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイ」「DNS(プライマリ)」「DNS(セカンダリ)」をそれぞれ選び、『数字』ボタンで番号を入力します。
- ④リモコンの『決定』ボタンを押して設定が完了です。

IPアドレス	IPでネットワーク上の機器を識別するために指定するネットワーク層における識別用の番号です。
サブネットマスク	IPアドレスのうちネットワークアドレスとホストアドレスを識別するための数値です。
ゲートウェイ	所属するLANなどの内部のネットワークから、外部にあるネットワークに通信を行う場合の出入口の役割を果たすように設定されたルータやコンピュータのことです。
DNS(プライマリ)	管轄するドメインのメインとなるDNSサーバーです。
DNS(セカンダリ)	プライマリDNSサーバの内容を複製したものです。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



インターネットを利用する

通信設定

接続テスト

「接続」を選択し、『決定』ボタンを押すと、インターネットの接続テストを実行します。テスト後、次画面にて結果が表示されます。

ネットワーク情報

『メニュー』ボタンを押して「機器設定」→「ネットワーク情報」を押すと現在利用しているネットワーク情報が表示されます。

ネットワーク情報	
有線LAN	
接続の状態	接続
IPアドレス	192.168. 0. 92
サブネットマスク	255.255.255. 0
デフォルトゲートウェイ	192.168. 0. 1
DNS (プライマリ)	192.168. 0. 1
DNS (セカンダリ)	168. 95. 1. 1
MACアドレス	00:00:00:00:01:06

決定/戻る 前画面

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



データ放送を楽しむ

dデータを使う

<データ放送とは>

データ放送には2つの種類があります

- ・連動データ放送
テレビ放送チャンネルで提供されているデータ放送です。
- ・独立データ放送
地デジのGガイドや、BS/CSチャンネルで番組案内、ニュース、天気予報など、独立したチャンネルとして放送される番組です。

<連動データ放送を楽しむ>

- ・一部の番組には番組連動データ放送があり、双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加することができます。
- ・テレビ放送チャンネルで番組案内や天気予報、ニュース等のデータ放送を提供している場合があります。

<デジタル放送の双方向サービスとは>

- ・インターネットや電話回線を利用して放送局との間で双方向に通信できるサービスです。ショッピング番組で買い物したり、クイズ番組でクイズに参加して回答したりできます。(本機では電話回線を利用した双方向サービスは対応しておりません。)
- ・地上デジタル放送の双方向サービスには番組に連動した通信サービスと番組とは関係のない通信サービスがあります。

<双方向サービスについてのお知らせ>

- ・双方向サービスをご利用される場合、あらかじめインターネットの接続と設定を行ってください。
- ・双方向サービスのご利用には登録の申し込みが必要な場合があります。
- ・双方向サービスでは、ご利用者の個人情報の入力を要求する場合がありますが、接続のサイトによってはSSLなどのセキュリティ対策がない場合がありますので、ご注意ください。
- ・双方向サービスをご利用時、通信がすぐにできず、次の操作まで時間がかかる場合があります。
- ・テレビ作動中は電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスで、お客様のポイント等の情報が更新できないことがあります。

データ放送を楽しむ

dデータを使う

デジタル放送の番組視聴中に『dデータ』ボタンを押すと、番組連動データ放送画面が表示されます。もう一度『dデータ』ボタンを押すと、通常の画面に戻ります。

リモコンの『方向』ボタンと『決定』ボタンでデータ放送画面内の色々な情報を選んで閲覧することができます。

※放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

※放送画面の操作説明などで『dデータ』ボタンは『データボタン』『データ放送ボタン』と表示される場合があります。

※本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。



※各放送局からのデータ放送画面内容はそれぞれ違いますので、画面に表示されている操作方法を読んでから操作してください。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

注意事項

- ・最大32番組の録画予約が可能です。
- ・ハードディスク(HDD)には約999件の録画が可能です。
- ・最大1番組録画時間は23時間59分です。
- ・録画時間の目安は、1TBのHDDで地デジ約100時間です。(番組のデータ量によって録画可能時間は変わります。)
- ・何らかの理由(主電源が切れた、電波が途切れた等)で録画が中断した場合には、データが破損してしまい、再生できない場合があります。
- ・ビデオやHDMIなど外部入力の映像などを記録することはできません。テレビ放送のみ録画可能です。
- ・本製品で録画したデータは、パソコンなどでの使用や視聴はできません。
- ・番組表は約7日後まで取得できます。それ以上先の録画予約はできません。日時を指定して録画予約した場合、6週先まで予約できます。
- ・同じ時間帯には1番組しか録画できません。
- ・本機ではじめて録画する場合、試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・著作権保護のため本機で録画した番組は移動(ムーブ)や複製(コピー)をすることはできません。
- ・本機で録画した番組は、本機でのみ視聴する事が出来ます。同機種であっても視聴できません。
- ・本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた番組が視聴できなくなります。あらかじめご了承ください。
- ・本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - 録画した番組を自分のホームページに載せる。
 - 録画した番組をメールなどで他人へ送る。
 - 録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。
- ・著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して当社は一切の責任を負いません。

録画・予約/再生

USBハードディスクについて

- ・AC電源タイプ(標準規格USB2.0)のハードディスクを使用してください。
- ・バスパワータイプのポータブルハードディスク(USB端子だけ付いているもの)は使用出来ません。
- ・Flash-SSD(ソリッドステートドライブ)は使用できません。
- ・使用できるハードディスクの容量は6TBまでです。データ転送方式がUSB2.0以上のものをご使用ください。(但し、USB3.0規格でも使用できないことがあります。)
- ・動作確認済みのハードディスクは弊社ホームページに掲載しています。
株式会社ピクセラ公式：<http://pixela.jp/hdd/>
- ・1つのハードディスクには最大 999 件の録画が可能です
- ・本機以外で録画をしたハードディスクの再生はできません。接続すると初期化されて、保存データが消去される恐れがあります。
- ・初めて本機に接続するハードディスクは、まず初期化を行ってください。※データが保存されている場合は消去されますので、ご注意ください。
- ・初めて使用するハードディスクの場合、正しく初期化が行われない場合があります。その際はもう一度初期化を行ってください。
- ・ハードディスクを認識するまで、約1分間時間がかかる場合があります。
- ・USBハードディスクは信頼のおける高品質なものをお使いください。
- ・録画を行う場合は、事前に試し録画をして正常に録画出来ることを確かめてください。
- ・録画した番組を再生すると、映像と音声が多量にずれしてしまう場合がありますのでご了承ください。
- ・外部記録メディアの物理的な破損や、内部データが損傷することで録画番組が再生できなくなる可能性があります。
- ・使用中(アクセス中)に本製品から取り外すと、外部記録メディアが破損し以降の録画や再生が正常に動作出来なくなる事があります。
- ・外部記録メディアを取り外す場合は、設定から「取り外し」を選択してからUSB端子を抜いてください。
- ・本機やUSBハードディスクの電源を正しく切らなかった場合、全ての録画番組が視聴できなくなる恐れがあります。
- ・物理的な衝撃(落下・重量物を本体にぶつけるなど)を与えたり不安定な場所で使用しないでください。
- ・分解や変形させないで下さい。
- ・磁気を近づけたり、電磁波が出ていると思われる場所で使用しないでください。
- ・高温になる場所(直射日光の当たる窓際や暖房器具の傍など)で使用や放置をしないでください。故障の原因となります。
- ・録画した番組に対する保証は致しかねます。予めご了承ください。
- ・See Q Vault対応のHDDはサポートしておりません。

録画・予約/再生

USBハードディスクについて

- ・USBハードディスクの最大予約件数は32件です。最大総番組数は999件です。

録画可能時間の目安

(例)500GB の USB ハードディスクの場合

放送番組の種類	録画可能時間の目安
地上デジタルハイビジョン放送(HD)番組だけを録画する場合	約 50 時間
BS/110 度 CS デジタルハイビジョン放送だけを録画する場合	約 42 時間
地上デジタル及び BS/110 度 CS デジタルの標準テレビ放送(SD)番組だけを録画する場合	約 125 時間

※USBハードディスクの残量時間表示は、BSデジタル放送のHD放送(24Mbps)を基準に算出しています。録画可能時間はあくまで目安です。

録画・予約の種類

録画・予約の種類	記載ページ
番組表から録画予約する	37 ページ
録画する日時を指定して録画予約する	38 ページ

対応機器一覧

ハードディスクの使い方や使用上の注意についてはお使いのメーカーの取扱説明書説明書を参照してください。

また、本機の動作確認済みのハードディスクは弊社ホームページに掲載しています。

<http://pixela.jp/hdd/>

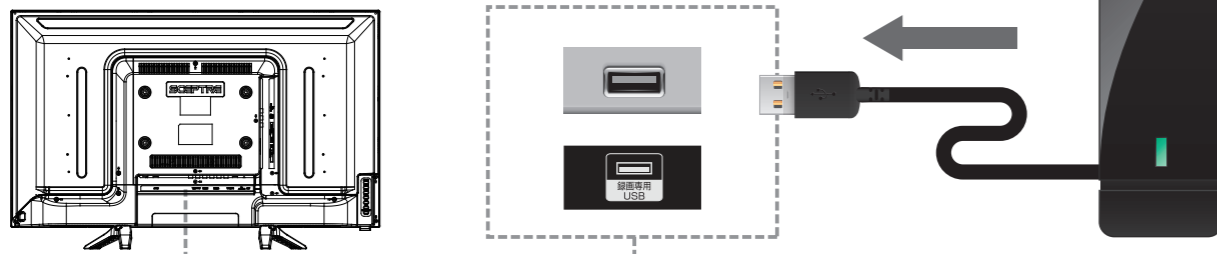
USBハードディスクを本機に登録する

本機に接続したUSBハードディスク(別売り)で、デジタル放送番組の録画や録画予約ができます。

1. USBハードディスクを接続します。本機背面のUSB端子(録画用)にUSBハードディスクを接続してください。

※本機に接続できるUSBハードディスクの最大容量は6TBです。

※電源オンが必要なUSBハードディスクの場合は、電源をオンにしてから接続してください。



⚠ 注意

- ・パソコンで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、パソコンなどで保存していたデータは全て消去されます。
- ・USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。保存した内容が消えたり、ハードディスクが故障したりする原因となります。
- ・本機に接続し初期化登録を行ったUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコン等では利用できません。

次ページへ続く→

USBハードディスクを本機に登録する(つづき)

2. 本機が未登録のUSBハードディスクを検出するとハードディスクの初期化の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録を行ってください。

【登録の方法】

- ① 初期化の確認画面で「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。
- ② 初期化したUSBハードディスクを録画機器として設定する場合「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。

【本機で使用履歴のあるUSBハードディスクを接続した場合】

- ① 「録画用に登録されたことがあるハードディスクを検出しました。再登録しますか?」と表示されます。※再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。
- ② 「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。
- ③ 登録したUSBハードディスクを録画機器として設定する場合「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。

録画・予約/再生

録画の準備をする

リモコンの『メニュー』ボタンを押して「機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

USB ハードディスク設定

『ハードディスク設定』を選び、『決定』ボタンを押します。

【ハードディスク登録】

1. ハードディスクの初期化/解除を行います。

※機器の登録を解除すると、ハードディスクが使用できない状態になります。

2. 登録の解除を行う場合は『赤』ボタンを押し、次の画面にて「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。

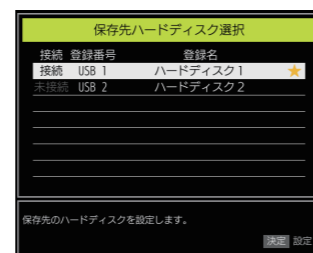
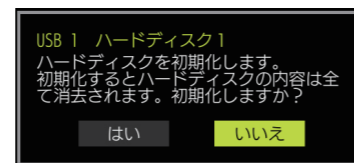
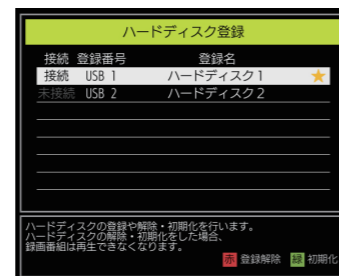
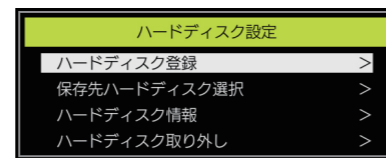
3. 初期化を行う場合は『緑』ボタンを押し、次の画面にて「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。

【保存先ハードディスク選択】

1. 保存先ハードディスクを設定できます。

【ハードディスク情報】

1. ハードディスクの容量や使用量などを確認できます。



録画・予約/再生

録画の準備をする

【機器の取り外し】

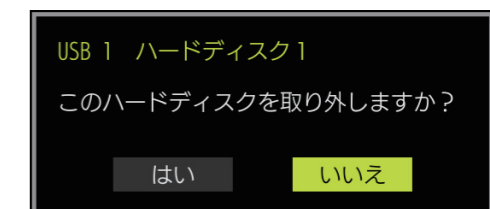
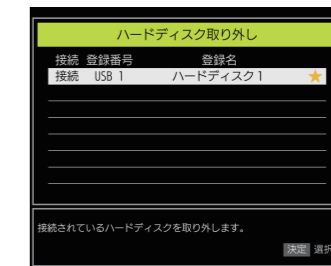
USBハードディスクを取り外します。

1. 「ハードディスク取り外し」を選び、取り外す機器を選択し『決定』ボタンを押します。

2. 「確認画面で、「はい」を選んで『決定』ボタンを押します。

3. 終了すると「ハードディスクを取り外しました」のメッセージが表示されます。

4. 『決定』ボタンを押し、USBハードディスクを取り外します。



録画・予約/再生

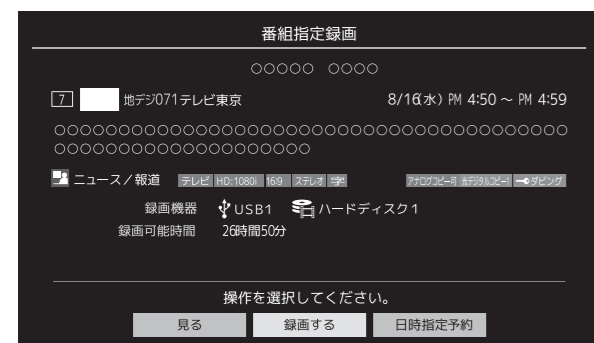
録画・予約をする

番組表から録画予約をする

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタンで録画したい番組を選び『決定』ボタンを押します。

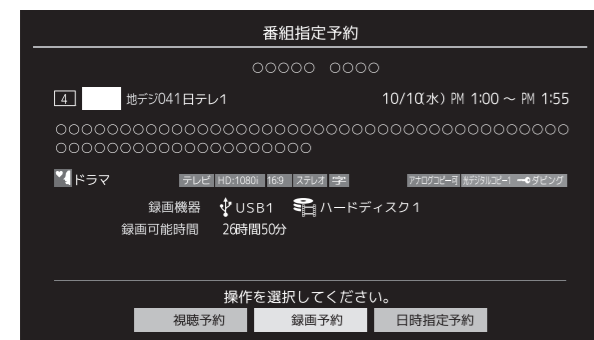
【現在放送中の番組を選んだ場合】

『方向』ボタン◀▶で「録画する」を選び、『決定』ボタンを押します。



【これから放送される番組を選んだ場合】

『方向』ボタン◀▶で「録画予約」を選び、『決定』ボタンを押します。



録画・予約/再生

録画・予約をする

録画する日時を指定して録画予約する

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタンで録画したい番組を選び『決定』ボタンを押します。
3. 番組内容を確認して「日時指定予約」を選び、『決定』ボタンを押します。
4. 保存するUSBハードディスクを選択します。「視聴予約」から『方向』ボタン▲▼で保存するUSBハードディスクを選びます。
5. 録画予約の日時を設定します。
 - ・ 30日先まで指定できます。
 - ・ 特定の日の他に、『毎日』『毎週(月)～毎週(日)』『火～土』『月～金』『月～土』などの繰り返し録画も選べます。
6. 設定が終わったら『決定』ボタンを押します。
7. 「予約を設定しました」が表示されたら、『決定』ボタンを押します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画・予約をする

番組を検索して録画予約する

1. リモコンの『番組表』ボタンを押します。
2. 番組表が表示されたら『緑』ボタンを押します。
3. 録画したいジャンルを『方向』ボタン▲▼で選び『決定』ボタンを押します。
4. 録画予約したい番組を検索します。
5. 番組検索結果画面から、録画したい番組を『方向』ボタン▲▼で選び『決定』ボタンを押します。
6. 『方向』ボタンで録画予約を選び、『決定』ボタンを押します。
7. 再度『決定』ボタンを押すと予約が完了し、番組検索結果画面に戻ります。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画・予約をする

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画を中止する

録画中に録画を途中でやめる時は、下記の操作をします。ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

リモコンの『停止』ボタンを押すと、「録画を中止してもよろしいですか?」と表示されるので「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。

予約の確認・予約の取消しをする

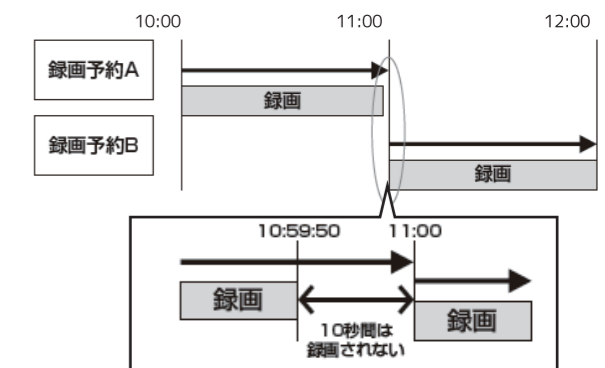
1. リモコンの予約一覧ボタンを押すと予約リストが表示されます。
2. 『方向』ボタン▲▼で予約を確認する番組を選び、『決定』ボタンを押します。この画面で予約の確認ができます。
3. 予約を取消しする場合には、『方向』ボタン◀▶で「予約取消」を選び、『決定』ボタンを押すと予約が取り消されます。

録画予約に関するお知らせ

録画動作について

【録画予約した番組の放送時間が連続する場合】

録画予約Aが10:00~11:00
録画予約Bが11:00~12:00の場合、
録画予約Aの終端10秒間は録画できません。



録画・予約/再生

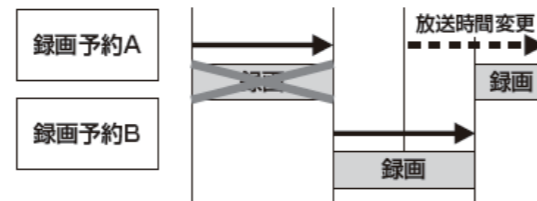
録画・予約をする

録画予約に関するお知らせ (つづき)

録画予約した番組が編成変更した場合の動作について

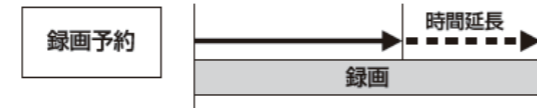
【録画予約した番組の放送開始時刻が変更され、他の録画予約と重複した場合】

録画予約Aの放送開始時刻が遅延し、録画予約Bの録画中の時間帯に変更された場合、録画を開始している録画予約Bが優先され、録画予約Bの録画終了後、録画予約Aの録画を開始します。



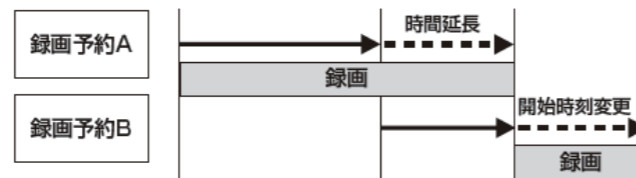
【録画予約した番組の放送時間が延長された場合】

放送時間延長分も含めて、全て録画されます。



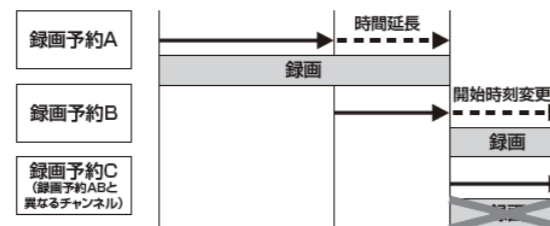
【録画予約した番組の放送時間が延長し、録画予約した次の番組の開始時刻が変更された場合】

録画予約Aの放送開始時刻が延長し、録画予約B (Aと同じチャンネル) の開始時刻が変更された場合、放送延長分も含めて、全て録画されます。



【録画予約した番組の開始時刻時間が変更され、他の録画予約と時間帯が重複した場合】

録画予約Aの放送時間が延長し、録画予約B (Aと同じチャンネル) の開始時刻が変更された場合、放送時間延長分も含めて、全て録画されます。但し、放送時間が重複した録画予約C (他チャンネル) は録画されません。



録画・予約/再生

録画した番組を再生・保護・削除する

再生の基本操作

1. リモコンの『録画一覧』ボタンを押すと、録画リストが表示されます。録画リストには、選択している番組の簡単な情報や録画可能時間などが表示されます。

2. 『方向』ボタン▲▼で見たい番組を選び、『決定』ボタンを押します。

⚠ 注意

- ・選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります。)
- ・番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になりしばらくすると録画リストに戻ります。

3. 再生を停止させるには、リモコンの『停止』ボタンを押すと録画一覧の画面に戻ります。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を再生・保護・削除する

続きから再生する

【レジューム再生】

再生する番組を選び、『決定』ボタンを押します。前回、再生を途中で停止した場合は、続きから再生されます。

番組の冒頭から再生する

【頭出し再生】







再生する番組にカーソルを合わせ、リモコンの『青』ボタンを押します。

録画中の番組を再生する

【追っかけ再生】

録画中の番組を『録画一覧』ボタンから選び、『決定』ボタンを押します。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

再生/一時停止 	再生をします。もう一度『再生』ボタンを押すと一時停止します。
停止ボタン 	USBハードディスクに録画した番組の再生を停止します。
早戻しボタン 	再生中に押すと、早戻しをします。
早送りボタン 	再生中に押すと、早送りをします。
前 	チャプター設定された番組は前の章へ。設定していない番組は前の番組へ移動します。
次 	チャプター設定された番組は次の章へ。設定していない番組は次の番組へ移動します。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を再生・保護・削除する

録画番組の番組情報を見る

- 1.再生中に『番組情報』ボタンを押します。
- 2.番組の情報が表示されます。しばらくすると番組情報の表示は消えます。
- 3.表示を消すには、もう一度『番組情報』ボタンを押します。

繰り返して再生をする【リピート再生】

- 1.録画一覧表示中に『メニュー』ボタンを押し、「リピート再生」を選択し『決定』ボタンを押します。
- 2.『方向』▲▼ボタンで以下から選び、『決定』ボタンを押します

オン	繰り返して再生を行います。
オフ	繰り返して再生を行いません。

使用するボタン

白い箇所が使用するボタン



録画・予約/再生

録画した番組を再生・保護・削除する

録画した番組を保護する

録画した番組を誤って削除しないように保護することができます。

1. リモコンの『録画一覧』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で保護する番組を選び、リモコンの『メニュー』ボタンを押して、方向ボタン▲▼で「保護設定」を選び、「オフ」を選択して、『決定』ボタンを押します。
3. 『方向』▲▼ボタンで「オン」を選びます。
4. 選択された番組が保護され、鍵マークが付きます。解除する場合は、保護されている番組を選び、リモコンの『メニュー』ボタンを押して、『方向』ボタン▲▼で「保護設定」を選び、「オフ」を選択して『決定』ボタンを押します。

※録画中にこの操作はできません。

録画した番組を削除する

1. リモコンの『録画一覧』ボタンを押します。
2. 『方向』▲▼ボタンで削除したい番組を選び、リモコンの『赤』ボタンを押すと「選択した番組を削除しますか？」が表示されますので「はい」を選び『決定』ボタンを押してください。

使用するボタン

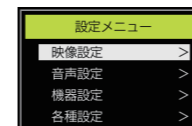
白い箇所が使用するボタン



各種設定

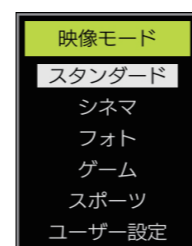
映像設定

リモコンの『メニュー』ボタンを押して「映像設定」を選び、『決定』ボタンを押します。



映像モード

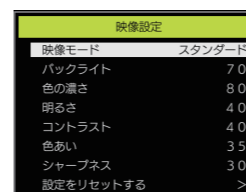
『方向』ボタン▲▼で項目を選び、『決定』ボタンを押します。



映像モード	
スタンダード	落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です。
シネマ	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です。
フォト	暗くした部屋でテレビ番組を見るときに適した設定です。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した設定です。(HDMI入力、ビデオ入力の時に設定できます)
スポーツ	スポーツ番組に適した画質になります。
ユーザー設定	設定項目を個別に調節する場合はこちらを選んでください。

映像調整 (放送/再生)

お好みに合わせて調整してください。調整した内容は保存されます。



映像調整 (放送/再生)	
バックライト	バックライトの明るさをお好みによって調整できます。
色の濃さ	設定値が低いと色が薄く、設定値が高いと色が濃くなります。
明るさ	設定値が低いほど暗く、設定値が高いほど明るくなります。
コントラスト	設定値が低いほど明暗の差が弱まり、設定値が高いほど明暗の差が強調されます。
色あい	設定値が低いと紫っぽく、設定値が高いと緑っぽくなります。
シャープネス	設定値が低いほど輪郭がぼやけ、設定値が高いほど輪郭がくっきり表示されます。
設定をリセットする	映像メモリー調整を初期設定に戻します

画面サイズを変える

視聴している番組に適した画面サイズを選ぶことができます。

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押して「各種設定」→「画面サイズ」を選び『決定』ボタンを押します。
2. お好みの画面サイズを『方向』▲▼ボタンで選び『決定』ボタンを押します。
3. メニューに「▶」マークが表示される時は、『方向』▶ボタンを押し必要に応じてお好みのモードを選択してください。「フィット」「ノーマル」「ワイドズーム」から選択できます。

各種設定

音声設定

音声設定	
バランス	50
高音	50
低音	50
デジタル音声出力	>
設定をリセットする	>

リモコンの『メニュー』ボタンを押して「音声設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

バランス

左右の音声出力のバランスを調整します。

バランス 50 左 ———— | ———— 右

高音

高音の強さを調整します。「0」～「+100」の範囲で調整できます。

低音

低音の強さを調整します。「0」～「+100」の範囲で調整できます。

デジタル音声出力

デジタル音声出力端子から出力する音声信号を設定します。お買上げ時は「PCM」に設定されています。

MPEG-2 AACデコーダーコー内蔵アンプをつなぐ時は「デジタルスルー」に設定してください。

デジタル音声出力	
PCM	リニアPCM信号が出力されます。
デジタルスルー	MPEG-2 AAC信号の場合、その信号が出力されます。

設定をリセットする

音声設定を初期設定にもどします。

各種設定

機器設定

リモコンの『メニュー』ボタンを押して「機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

省エネ設定

省エネ設定では右記の設定を行います。

省エネ設定	
省電力	標準
無操作電源オフ	切
無信号電源オフ	切
外部入力無信号電源オフ	切

省電力	標準/減1/減2
無操作自動電源オフ	テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が切れ、待機状態にするかしないかを選択します。
無信号電源オフ	放送受信時に、無信号状態が間続くと、電源が切れ、待機状態にする時間を「切」「5分」「10分」「15分」「30分」から設定できます。
外部入力無信号オフ	外部入力選択時に、無信号状態が続くと、電源が切れ、待機状態にするか時間を「切」「5分」「10分」「15分」「30分」から設定できます。

視聴年齢制限

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押して「各種設定」→「個人情報」→「視聴年齢制限」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 「暗証番号を設定しますか？」と表示されるので「はい」を選択し、『決定』ボタンを押します。
3. 4桁の新しい暗証番号をリモコンの『数字』ボタンを押して入力します。
4. 「新しい暗証番号を設定しました。」と表示されるので『決定』ボタンを押します。
5. 「視聴年齢制限」を選び『方向』ボタン◀▶で「有効」を選びます。
6. 「年齢設定」を選び『方向』ボタン◀▶で「4～19」のいずれかの数字を選びます。

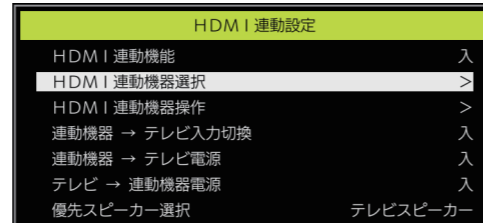
各種設定

機器設定

リモコンの『メニュー』ボタンを押して「機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

HDMI 連動設定

1. 「HDMI連動設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 設定する項目を『方向』ボタン▲▼で以下の設定から選び、『決定』ボタンを押します。



HDMI連動機能	HDMIの各種連動制御を使用するかどうかを設定します。
HDMI連動機器選択	1台以上のHDMI連動機器を接続するとき1つのHDMI連動機器選択を設定します。
HDMI連動機器操作	「リンクメニュー」、「録画一覧」、「予約一覧」、「セットアップメニュー」、「画面表示」、「電源」を設定できます。
連動機器→テレビ入力切換	連動機器の再生操作をした時に、本機が自動的に入力切換をして、その機器の選択をする機能です。(本機の電源『入』の場合。)
連動機器→テレビ電源	連動機器の電源を入れた時に、本機が自動的に電源を入れます。
テレビ→連動機器電源	本機の電源を切った時に、連動機器が自動的に電源を切ります。
優先スピーカー	HDMI連動設定を『入』に設定した場合に、優先するスピーカーを選択します。 ・テレビスピーカー:本機のスピーカーから音声が出ます。 ・外部スピーカー:オーディオ機器の電源が『入』のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 ※本機のヘッドホン端子は、本機のスピーカーから音声が出る条件のときに使用できます。

※接続した機器はCEC機能を対応できる、またCEC機能をONに設定した時のみ機能します。
詳しくは接続した機器の取扱説明書をご確認ください。

各種設定

機器設定

リモコンの『メニュー』ボタンを押して「機器設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

ハードディスク設定

ハードディスクの設定を行います。操作手順はP35~36をご覧ください。

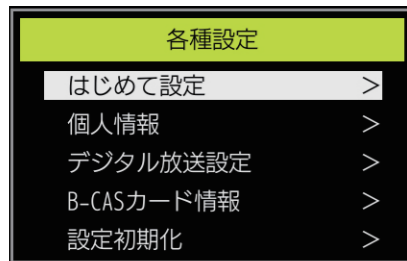
オフタイマー設定

設定時間後に電源が切れて待機状態になります。『方向』▲▼ボタンで「オフタイマー設定」を選び、『決定』ボタンを押し、好みの時間を設定します。

※電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
※設定後に電源を切ったり待機にすると設定が取り消されます。

各種設定

初期設定



リモコンの『メニュー』ボタンを押して「各種設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

はじめて設定

引越などでお住まいの地域が変わった時には「はじめて設定」を行ってください。操作手順は④14・15ページをご覧ください。

チャンネル設定

【地上デジタル自動設定】

引越した場合などこのメニューからチャンネルを設定してください。状況に応じて下記のスキャン方法を選びます。「各種設定」→「デジタル放送設定」を選び、『決定』ボタンを押します。

新規スキャン	本機設置後、地上デジタル放送を視聴するために初めて行う設定です。他の地域へ引越した場合にも設定が必要となります。なお、本スキャンを行うと地上デジタル放送に関するチャンネル設定がすべて消去されますのでご注意ください。
再スキャン	新しい放送局が開局したとき、中継局が新しく設置された場合や、伝送チャンネルが変更した場合などに行う設定です。本スキャンにより、現在受信できる地上デジタル放送のチャンネルを更新することができます。

【チャンネルスキップ設定】

チャンネル切換ボタンで選局する時に、不要なチャンネルをスキップすることができます。

1. 「チャンネルスキップ設定」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼で設定したい放送の種類を選択し、『決定』ボタンを押します。
3. スキップ設定を変更したいチャンネルを『方向』ボタン▲▼で選び、『決定』ボタンを押すと、「S」が表示され、スキップしたいチャンネルとして、指定されます。



※決定ボタンを押すたびに『S』へ表示が交互に切り換ります。

※デジタル放送の放送メディア（テレビ/ラジオ/データ）を変える時は、『青』ボタンを押します。

各種設定

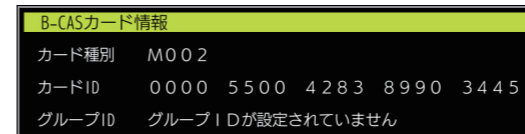
初期設定

ネットワーク設定

LAN端子の接続をした場合に設定します。操作手順は④25～27ページをご覧ください。

B-CASカード情報

「B-CASカード情報」を選び、『決定』ボタンを押すと、mini B-CASカードの状態が表示されます。



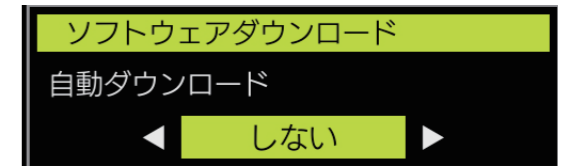
もう一度『決定』ボタンを押すと、認識番号・ID番号が表示されます。

3 ソフトウェアのダウンロード

ソフトウェア自動更新の設定や、ソフトウェアバージョンを確認できます。

【放送からのダウンロード】

1. 「デジタル放送設定」→「ソフトウェアのダウンロード」を選び、『決定』ボタンを押します。



【ソフトウェアバージョン】

「機器情報」を選び『決定』ボタンを押すと現在のソフトウェアバージョンを表示します。

⚠ 注意

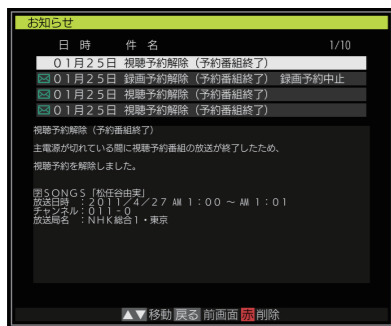
- ・『ダウンロードする』に設定しておく、新しいソフトウェアが配信された際、自動的にダウンロードと更新が行われます。
- ・『ダウンロードしない』に設定している場合は、『お知らせ（メール）』の『本機に関するお知らせ』に、ソフトウェア配信の日時を知らせるメールが届きます。配信日までに『ダウンロードする』に設定してください。
- ・本体の電源がOFFになっていると、ソフトウェアのダウンロードを行えません。コンセントを抜かないようにご注意ください。
- ・アンテナ受信レベルが低い場合、ソフトウェアのダウンロードは行えません。NHKのアンテナレベルが50以上になるようアンテナを調整してください。

各種設定

その他の操作

お知らせ

1. リモコンの『メニュー』ボタンを押して「各種設定」→「個人情報」→「お知らせ」を選び、『決定』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン▲▼でお知らせの種類を選び、『決定』ボタンを押します。



青 本機のお知らせを確認

【「本機に関するお知らせ」を削除する場合】
削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

1. 「本機に関するお知らせ」の画面で、リモコンの『赤』ボタンを押します。
2. 『方向』ボタン◀▶で「はい」を選び、『決定』ボタンを押します。

※『本機に関するお知らせ』すべてが削除されます。

注意

- ・『放送局からのお知らせ』は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタルは合わせて24通まで記憶されます。(放送局の運用によっては、それよりも少ない場合もあります。) 記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- ・『本機に関するお知らせ』は既読の古いものから順に削除される場合があります。
- ・『ボード』は、110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

ソフトウェアバージョン

リモコンの『メニュー』ボタンを押して「各種設定」→「デジタル放送設定」→「機器情報」を選び、『決定』ボタンを押します。現在のソフトウェアのバージョンを確認することができます。

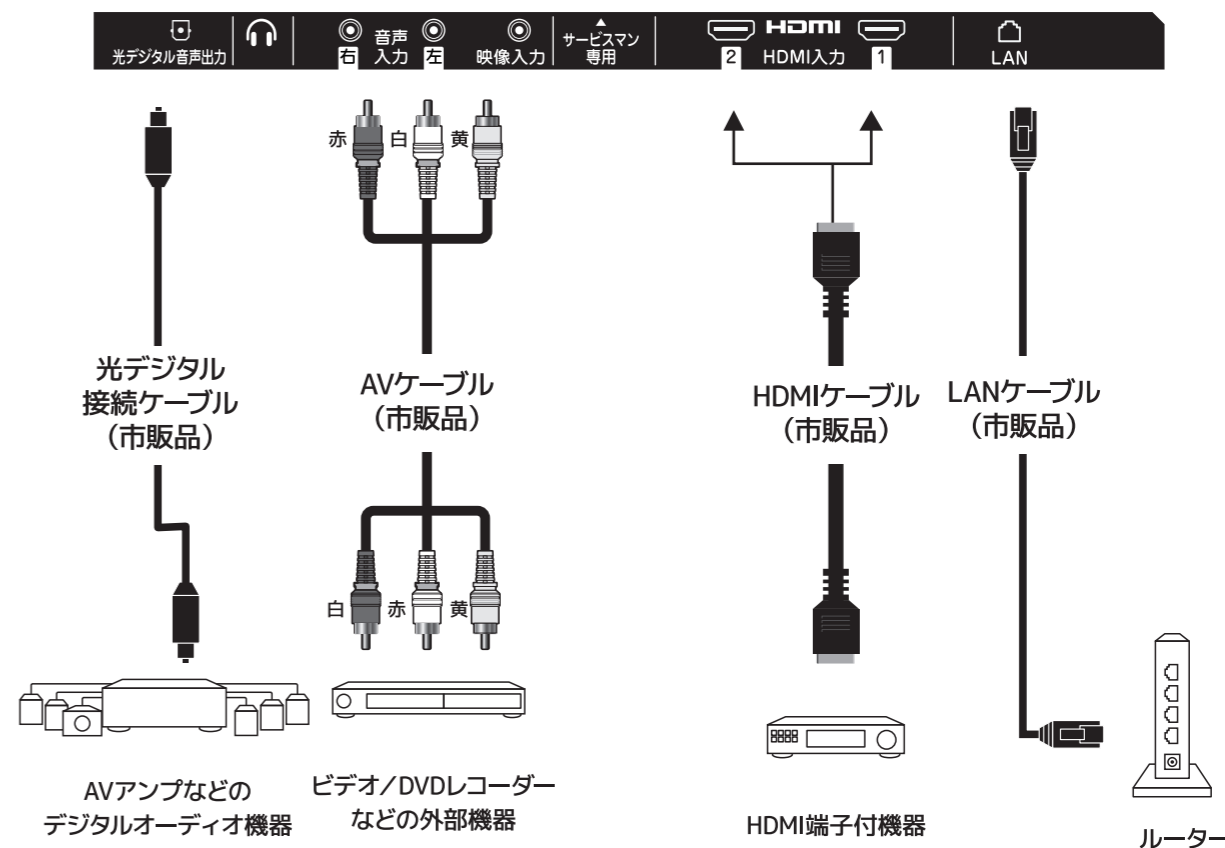
機器情報	
ソフト名	JR0020150100
バージョン	A20001E25017BT010038
フロント	本製品はフロントワークスフロントを使用しています。

外部機器と接続する

接続のしかた

<接続する前に>

本機に接続する機器の取り扱い説明書も併せてよくお読みください。
ケーブルを接続するときは安全の為、本機、外部機器の電源コードを抜いて作業してください。接続するプラグは各機器にしっかりと差し込んでください。



接続について

- ビデオ (AVケーブル) で接続する
- 対応している規格はNTSCです。合わないものについては視聴できないことがあります。
- HDMIケーブルで接続する
- HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。
 - HDMI機器との相性により音が出ない場合があります。
 - 当製品のHDMIバージョンは「1.4」です。機器間のリンク機能には対応していません。
 - ARC対応のオーディオ機器を接続する場合はARC対応ケーブルをご使用ください。

その他

その他の情報

液晶パネルについて	液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素があります。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
画像の残像について	静止画を長時間表示された場合などに、部分的に映像が消えない（残像）症状が発生する場合がありますが、これは故障ではありません。通常の動画放送をご覧いただくことにより、次第に目立たなくなります。
廃棄方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・本製品を廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定などの個人情報の消去を行ってください。 ・家電リサイクル法では、お客様ご使用済のテレビ（ブラウン管式、液晶式、プラズマ式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。 ・mini B-CASカードは破棄せずに㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズまで返却してください。
EWS(緊急警報放送)について	<p>EWS(緊急警報放送)とは：地震津波などの災害発生時に、放送波に特殊な信号を割り込ませることでテレビやラジオなどの受信機から警報音（ピロピロという音）を発生し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせるための放送です。</p> <p>人命や財産に重大な影響のある次の3つの場合に限って放送されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大規模地震など災害についての警戒宣言が発せられた場合。 2) 津波警報が発せられた場合。 3) 地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合。 <ul style="list-style-type: none"> ・本製品は地震や津波などの災害発生時に発信される緊急警報放送の文字スーパー表示に対応しています。緊急警報放送を受信することによる本製品の自動起動には対応しておりません。米軍基地周辺のAFN(米軍放送)の緊急告知放送には対応していません。 ・地上デジタル放送を視聴中にEWS(緊急警報放送)を受信すると、画面に「緊急警報放送を受信しました」と表示されます。このときに決定ボタンを押すと緊急警報放送が視聴できます。このメッセージはチャンネルを変えても表示されます。緊急警報放送を視聴した後、または表示しているメッセージを消す場合は「戻る」ボタンを押してください。
ES(エンジニアリング・サービス)について	<p>ES(エンジニアリング・サービス)とは、地上デジタル放送の電波を用いて本製品のファームウェア(ソフトウェア)を自動でアップデートし、機能の追加や改善などを行うサービスのことです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ESを行う際には、放送メールにて実施のお知らせが流れます。下図のメッセージが画面に表示された場合には、ESにご協力ください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">XXXX年XX月XX日XX時XX分からソフトウェアのアップデートが実施されます。</div> 2) 上記メッセージの時間帯に本製品を待機(スタンバイ)状態にします。 3) 時間になるとファームアップ(ファームウェアのアップデート)が始まります。 ※ファームアップには10~30分程度かかります。(電波の受信状況により変わります。) ※ファームアップ中は電源を切ったりアンテナ線を抜いたりしないでください。 4) ファームアップが終了すると、放送メールで下図のメッセージが送られます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">ソフトウェアのアップデートに成功しました。</div> 5) 放送メールをご覧になるには「メール表示」P.38をご参照ください。
アナログ放送について	本機はアナログ放送(地上/衛星/CATV)については視聴できません。

※記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面をご確認ください。

※記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。	P.13
	本体電源がOFFになっている。	本体裏側の電源がOFFになっていませんか？電源をONにし、電源表示ランプが赤色に点灯しているか確認してください。	P.13
電源が入っているのに画面に何も映らない	異なる外部入力モードになっている。	入力切替ボタンを押して入力モードを確認してください。	P.20
	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.11
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面からチャンネル設定のチャンネルスキャンを行ってください。	P.51
	衛星放送アンテナに電源が供給されていない。	本機とBS/CSアンテナが正しく接続されている事を確認し、衛星放送アンテナに電源が供給されているか確認してください。	P.13
電源が入っているのに操作ができない	電源電圧の急激な変化等で正常な動作をしていない。	電源コードをコンセントから抜き、1分ほど待ってから改めてコンセントに差し込んで電源を入れてください。	P.13
突然電源が切れる	オフタイマーが動作している。	オフタイマーをオフにしてください。	P.50
地上デジタル・BS・CS放送が映らない	B-CASカードが正しく挿入されていない。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.11
	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上(推奨値内)になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1	P.16・17
	チャンネルスキャンが正しく行われていない。	設定メニュー画面からチャンネル設定のチャンネルスキャンを行ってください。	P.51
	ケーブルテレビの伝送方式がパススルーではない。	ケーブルテレビ会社に伝送方式を確認してください。	—
	悪天候などにより受信感度が落ちている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が回復するまでお待ちください。	—
	アンテナ線の接続がゆるい、またはプラグ内の芯線が折れたり曲がったりしている。	アンテナ線の接続を確認してください。	P.13
特定のチャンネルが映らない	受信感度が良くない。	再スキャンをおこなってください。	P.51
	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上(推奨値内)になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1	P.16・17
音声は出るが映像が出ない	映像設定の調整が悪い。	設定メニューから映像設定の調整をしてください。	P.46
	映像入力端子が正しく接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、映像入力端子が正しく接続されているか確認してください。	P.54
音が出ない	音量調整が最小になっている。	音量ボタンを押して音量を調整してください。	P.19
	消音状態になっている。	消音ボタンを押して消音を解除してください。	P.19
	音声ケーブルが接続されていない。	外部入力機器を接続している場合は、各入力端子が正しく接続されているか確認してください。	P.54
	設定が「外部スピーカー」になっている。	「テレビスピーカー」をご確認ください。	P.49

※1 常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター(増幅器)を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電気店にご相談ください。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
画面の映りが悪い	アンテナの向き・角度がずれている。	アンテナの角度を調整してアンテナレベルが60以上（推奨値内）になるようにしてください。アンテナの調整は専門業者にお問合せください。※1	P.16・17
	画面の視野角から外れている。	視野角の範囲外から見ると、映像が見にくい場合があります。	—
	他のテレビやラジオ、ゲーム機、パソコン、オーディオ、ビデオなどから妨害を受けている。	妨害を受けているものから離してご使用ください。	—
	悪天候などにより受信感度が落ちている。	天候の影響により、映像が乱れることがあります。天候が変わるまでお待ちください。	—
画面の色がおかしい	「映像設定」の調整が悪い。	設定メニューから「映像設定」の調整をしてください。	P.46
画面が暗い	「明るさ」の調整が悪い。	設定メニューから映像メニューの設定をしてください。	P.46
リモコンが動作しない	電池の極性が正しく入っていない。	電池の+-を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。	P.9
	電池が消耗している。	2本とも新しい電池に入れ替えて再度確認してください。	—
	リモコン受信部近くに障害物がある。	受信部の前から障害物を選び、本機の受光範囲内（左右30度、上下15度まで）で使用ください。	—
	リモコン受信部に日光や蛍光灯の光など強い照明が当たっている。	受信部を強い光から離してください。	—
	テレビ本体が操作不能になっている。	一度プラグをコンセントから抜いて、再度電源をいれてください。	P.13
番組表に何も表示されない	番組表の更新が行われていない。	一定時間ひとつのチャンネルを見ることで、そのチャンネルの番組表を取得することができます。（電波状況により時間がかかる場合があります）	P.22
選局できない番号ボタンがある	チャンネルが割り当てられていない番号を選局している。	チャンネル設定からチャンネルがその番号に割り当てられているか確認してください。	P.51
	チャンネルの切り換えに時間がかかっている。	受信信号を処理する時間上、チャンネルの切り換えに時間がかかる場合があります。	—
インターネットに接続できない	正しく設定されていない。	お客様のネットワーク環境をご確認ください。	P.24~27
	正しく通信できていない。		
画面に黒い点（点灯しない点）または輝点（光る点）が見える	画面の一部に画素の欠け（ドット抜け）や輝点が存在している。	液晶は微細な画素の集合です。画面の一部に画素の欠け（ドット抜け）や輝点が存在する場合がありますが故障ではありません。	—
予約録画したはずの番組が録画リストにない	USBハードディスクの残容量不足。	USBハードディスクの残容量を確認してください。	—
	録画時の受信状況が悪かった。	受信状況を確認してください。	P.16・17
	番組情報が取得できていなかった。	番組情報を取得してから予約録画をしてください。	P.22

※本機には高度なソフトウェアが組み込まれています。上記のように正常に動作しなくなった時は、一度プラグをコンセントから抜いて、約1分後に再度電源プラグを差し込んでください。

※液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが、こちらは故障ではありません。

※地上デジタル放送は、地上アナログ放送に比べて数秒遅れて放送されますが、故障ではありません。

※1 常に受信状態のよくないチャンネルは、市販のブースター（増幅器）を設置することで正常に受信できる場合があります。お近くの電気店にご相談ください。

故障かも・・・と思ったら

症状	考えられる原因	対処法	参照ページ
予約録画したはずの番組が録画リストにない	録画できない映像だった。	コピー禁止の番組や、独立データ放送、ラジオ放送番組、外部入力からの映像・音声は録画できません。	—
	放送開始時刻が変更された。	録画予約した番組の放送開始時刻が繰り上げられた場合は録画できません。放送開始時刻が変更になり録画できなかった場合は、「設定」メニューの「お知らせ」で確認できます。	P.40
録画した番組が再生できない	本機以外で再生しようとした。	本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。	P.30
USBハードディスクが認識されない	USBハードディスクが正しく接続されていない。	USBハードディスクが正しく接続されているかご確認ください。	P.33
	USBハードディスクが本機に登録されていない。	USBハードディスクを本機に登録してください。	P.33
設定を初期状態に戻したい	—	「設定の初期化」を行ってください。	P.51

アフターサービスとお問い合わせ

修理を依頼される前にP56~58ページの「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買上げ店または弊社サポートセンターにご相談ください。

保証書を必ずご確認ください

別途添付している保証書は、「お買上げ日」と「販売店名」の記入があることを必ず確かめてからお買上げ店よりお受け取りください。

また、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。保証期間はご購入日から1年間です。

※本製品を分解すると、保証が無効になります。

アフターサービスとお問い合わせ

修理をご依頼される場合

修理を依頼される前にP56~58ページの「故障かも・・・と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。

それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いてお買上げ店または弊社サポートセンターにご連絡ください。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。

※保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償修理させていただきます。

修理をご依頼される時にご準備いただきたい内容

- ・お客様の氏名/住所/電話番号
- ・製品名/型番/お買上げ日/お買上げ店
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

本製品に関するお問合せおよび修理に関するお問合せ

■メールお問い合わせフォーム、各製品のQ&Aなど

<http://pixela.jp/contact>

■電話でのお問い合わせ

受付時間：10時から18時（年末年始祝日除く）

固定電話をご利用の場合



0120-727-231（無料）

携帯電話をご利用の場合



0570-064-246（有料）

製品の詳しい情報や、最新情報については弊社ホームページを確認してください

<http://www.pixela.co.jp/>

製品仕様

製品名		32V型 液晶テレビ
型番		PIX-32VL100
チューナー	地上デジタル	2*1
	BSデジタル/110度CSデジタル	2*1
液晶パネル	パネルサイズ	32V
	パネルタイプ	IPS
	画素数	1920×1080
	コントラスト	4000:1 (TYP)
	視野角	上下 178° 左右178°*2
外形寸法		
重量		約4.7kg (スタンド含む) / 約4.5kg (スタンド含まず)
消費電力	消費電力 (待機時)	70W (2W)
	年間消費電力*3	72kWh/年
	省エネ消費電力達成率	132%
動作環境	使用時	温度0℃～35℃、湿度20%～80%RH (結露なきこと)
	保管時	-10℃～50℃
接続端子	入力端子	アンテナ端子×2 (地上デジタル×1、BS・CSデジタル×1)
		HDMI×3 (バージョン1.4)
		AV端子×1
		USB×1 (バージョン2.0)
		LAN×1
	出力端子	光デジタル音声×1
		3.5φステレオミニジャック×1
音声出力	スピーカー	2
	実用最大出力 (JEITA)	5W+5W
受信放送		地上デジタルテレビジョン放送 (ISDB-T)
		BSデジタル放送 (ISDB-S)
		110度CSデジタル放送 (ISDB-S)
電源		AC 100V 50Hz/60Hz
チルト角度		なし
壁掛け対応		VESA 200mm x100mm M4×6ネジ
内容品		本体/スタンド/スタンド取り付けネジ/リモコン/単4乾電池 (動作確認用)/mini B-CASカード/取扱説明書/セットアップガイド/保証書/B-CASカード脱落防止ネジ

※1 1つは視聴専用、1つは録画 ※2 コントラスト比10:1を確保できる角度 ※3 年間消費電力とは、省エネ法に基づいて、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力です。
●接続端子は、すべての機器との接続動作を保証するものではありません。 ●仕様および外観は、性能向上やその他の理由で予告なく変更される場合があります。
●液晶画面面に触れないようにしてください。液晶パネルを傷つけたりすることがあります。 ●"HDMI"、"HDMI" ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
●◎およびTMなどの商標マークは一部省略しています。